

令和6年3月12日（火）

令和5年度 校内研究報告会



栃木県立富屋特別支援学校



Ⅰ 目的



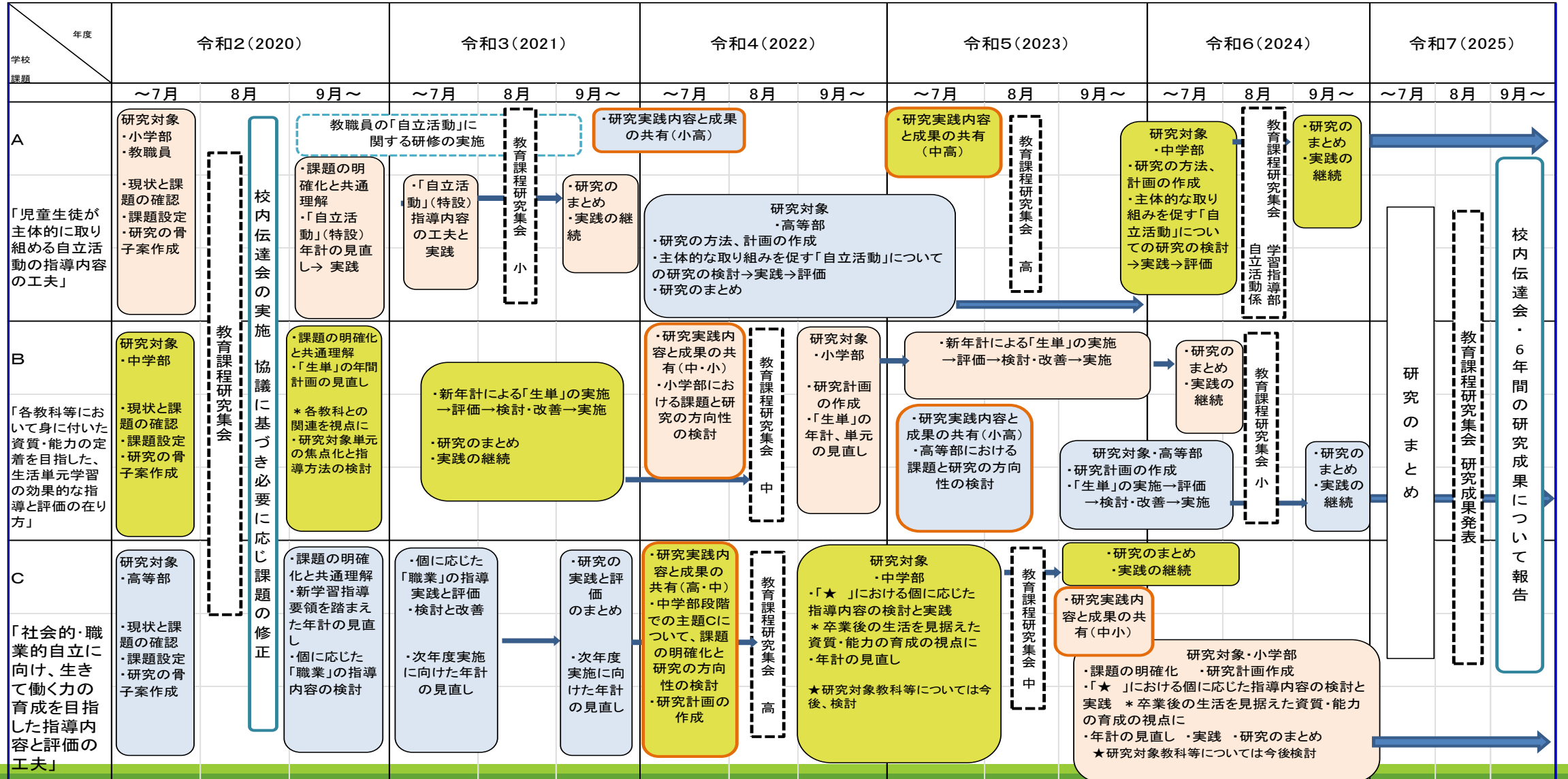
- 新学習指導要領の趣旨及び栃木県教育振興基本計画の基本理念に則り、**生きる力を育む教育を推進するため、**研究主題に基づき、教育課程上の課題や成果について協議することにより、**教育課程の改善・充実に資する。**
- 児童生徒の**自信と意欲を育てる指導の充実**を目指し、研究主題に基づいた授業計画、実践、評価、改善に組織的に取り組む。

2 研究主題



A	自立活動の指導における子どもの 主体的な取り組みを促す 効果的な指導と評価の在り方
B	各教科等を合わせた指導における、各教科の基礎的な知識・技能を確実に習得させるための 個に応じた 効果的な指導と評価の在り方
C	社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力を着実に育成するための 個に応じた 効果的な指導と評価の在り方

3 研究計画



4 実践報告



【研究主題A】 高等部

学校課題

「児童生徒が主体的に取り組める
自立活動の指導の工夫」

(1) 研究の主な内容

①研修

「自立活動」について

- ・教職員の意識の向上
- ・3つの視点の確認

②事例検討

- ・個別の教育支援計画について

→実態把握、課題の抽出などの記入の仕方

→活用方法について

- ・各課程、グループに分かれての検討

(2) 昨年度の取り組み

事例検討会（6月、7月）

課程Ⅰ、課程Ⅱ（各学年ごと）、重複課程→1事例ずつ

- ・個別の教育支援計画様式2を基に対象生徒の実態把握
- ・ねらいと指導内容、手立てについて確認
- ・VTRによる検討

事例検討会②（11月）

これまでの指導経過についての報告及び検討

研修会（2月）

個別の教育支援計画様式2について

- ・指導の評価と改善等について

(3) 今年度の取り組み

①研修(5月)

「高等部における自立活動について」

- ・自立活動とは
- ・自立活動の指導のポイント
- ・高等部における自立活動

→高等部での自立活動について共通理解を図る

→3つの視点について確認

→特設の自立活動がないため、指導場面の設定を明確にする

②事例検討（6月、10月、1月）

☆課程Ⅰ、課程Ⅱ（各学年ごと）、重複課程で1事例ずつ

- ・実態表を基に対象生徒の実態把握（6月）
- ・中心的な課題と指導内容、手立てについて確認（6月）
←着眼点：興味・関心、得意なこと等
←主体性：「自己選択や気持ちを表出する場の設定」
- ・これまでの指導経過についての報告及び検討（10月、1月）
→VTRを資料として活用
- ・指導の成果と課題について検討（1月）

③研修（2月）

- ・指導の評価と改善について



【実践事例】

対象生徒：（高2・Ⅱ課程）S生徒
自閉症 療育手帳AⅠ

【実態】

- ・バスや下校確認表が好きである。
- ・慣れていることであれば、発声やお辞儀をしたり、指定の場所に移動したりすることができる。
- ・自分が知りたい物や文字、不安なことがあると、その文字や方向を指さし、何をするのかを言うよう要求することがある。



・特に昼食前は、お腹がすいて不安定になりやすい。早食いで食べ終わるのが早く、他の人が食べている様子を立って見ていたり、声や音を立てたり、友達を叩きにいたりすることがある。

・大きな音や小さい子の鳴き声に敏感で、イヤーマフを着用している。不安や注目行動として、大きな音をたてたり、物を蹴ったり倒したり、衝動的に特定の人を叩きに行ったりすることがある。

Ⅰ 学期の様子



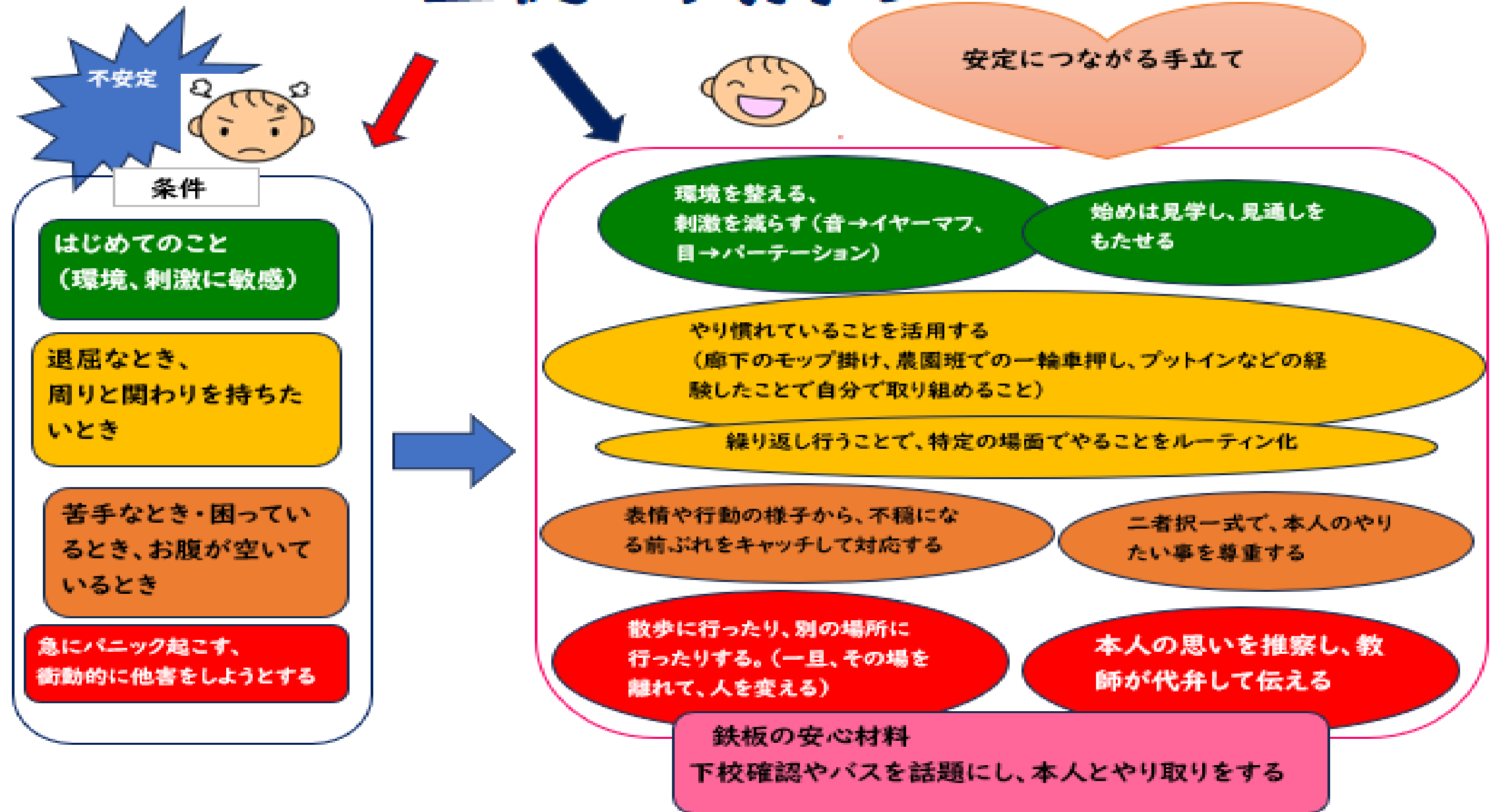
【目標・指導場面】

一日の中で、安定して過ごすことができる時間を増やす。

(日常生活、各学習指導)

指導内容	主体性を引き出す工夫
①昼食後に手持ち無沙汰にならないよう、個別教材を用意したり、係の仕事をお願いしたりする。また、S生徒が好きな曲を聴いて、穏やかに過ごせるようにする。 ②気持ちが不安定になる前に、S生徒が好きな活動(下校確認表)を少し取り入れたり、近くに教師がいて関わりをもてるようにしたりする。	①S生徒がこれまでに経験したことがある、マッチングや一対一対応、プットイン課題等を用意した。また、給食のときに本人が好きなクラシック曲の音楽を流した。 ②「下校確認表」を差し出し、S生徒が知りたいところを指でトントンとし、教師が「〇〇さんは、△△で帰ります。」と言うやり取りをする時間を設けるようにした。

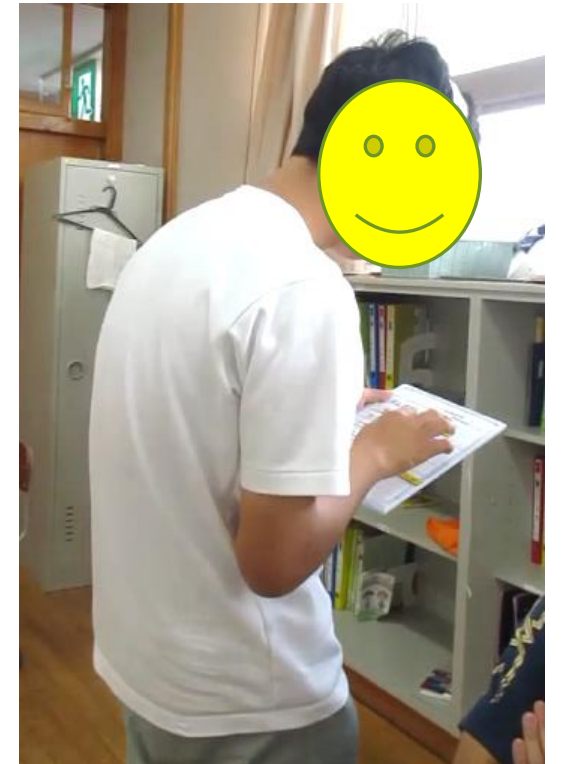
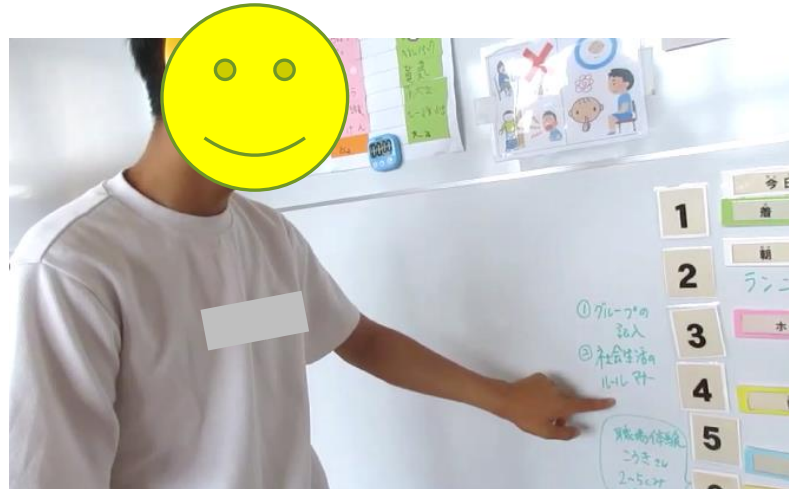
S生徒の気持ち



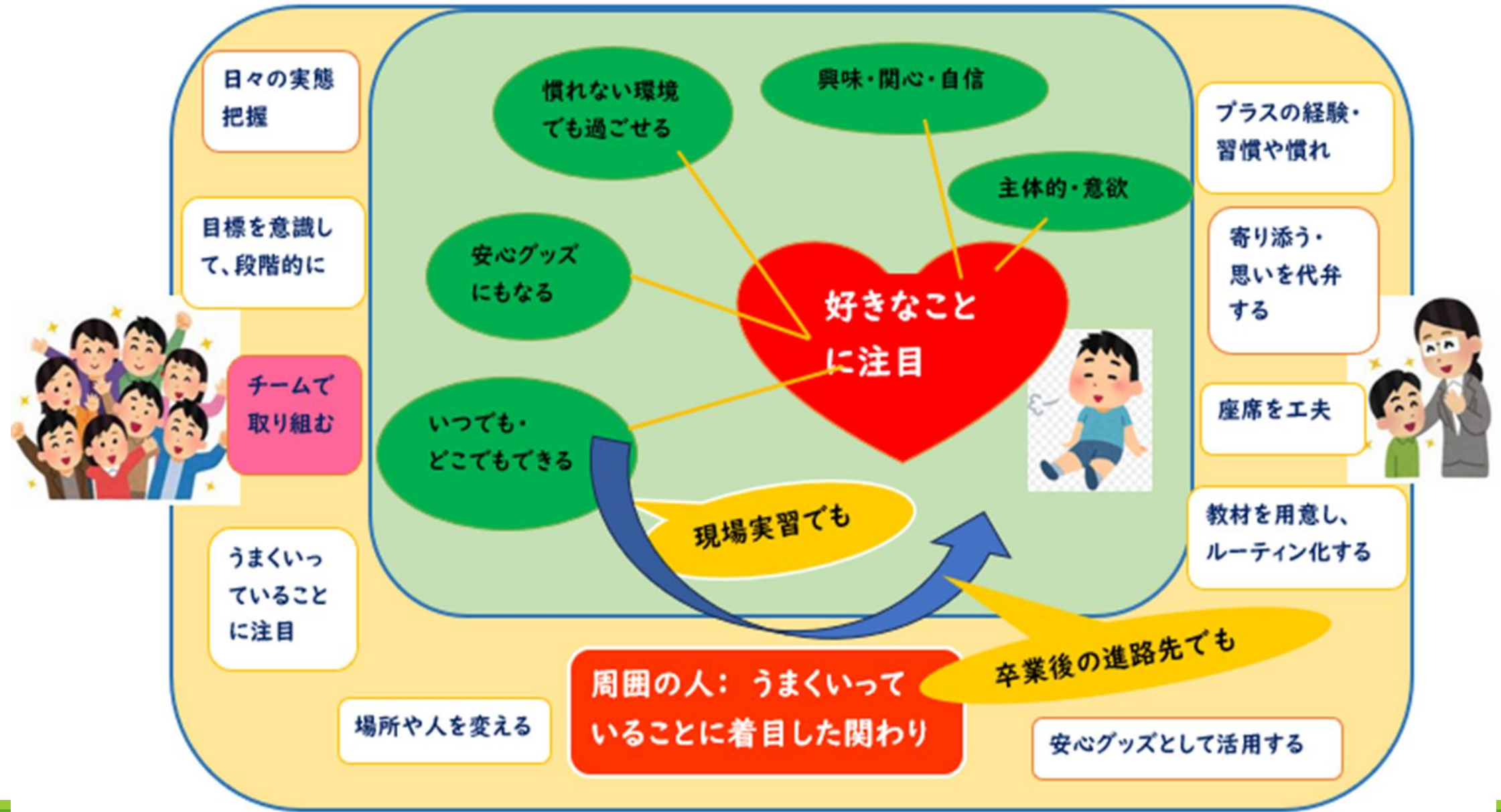
【生徒の変容】

①昼食後に今までにやったことがある課題に取り組むのを繰り返し行ったことで、ルーティン化し、教材の準備・片付けまで自分で行えるようになった。課題に取り組んでいるときは、落ち着いて過ごせるようになった。

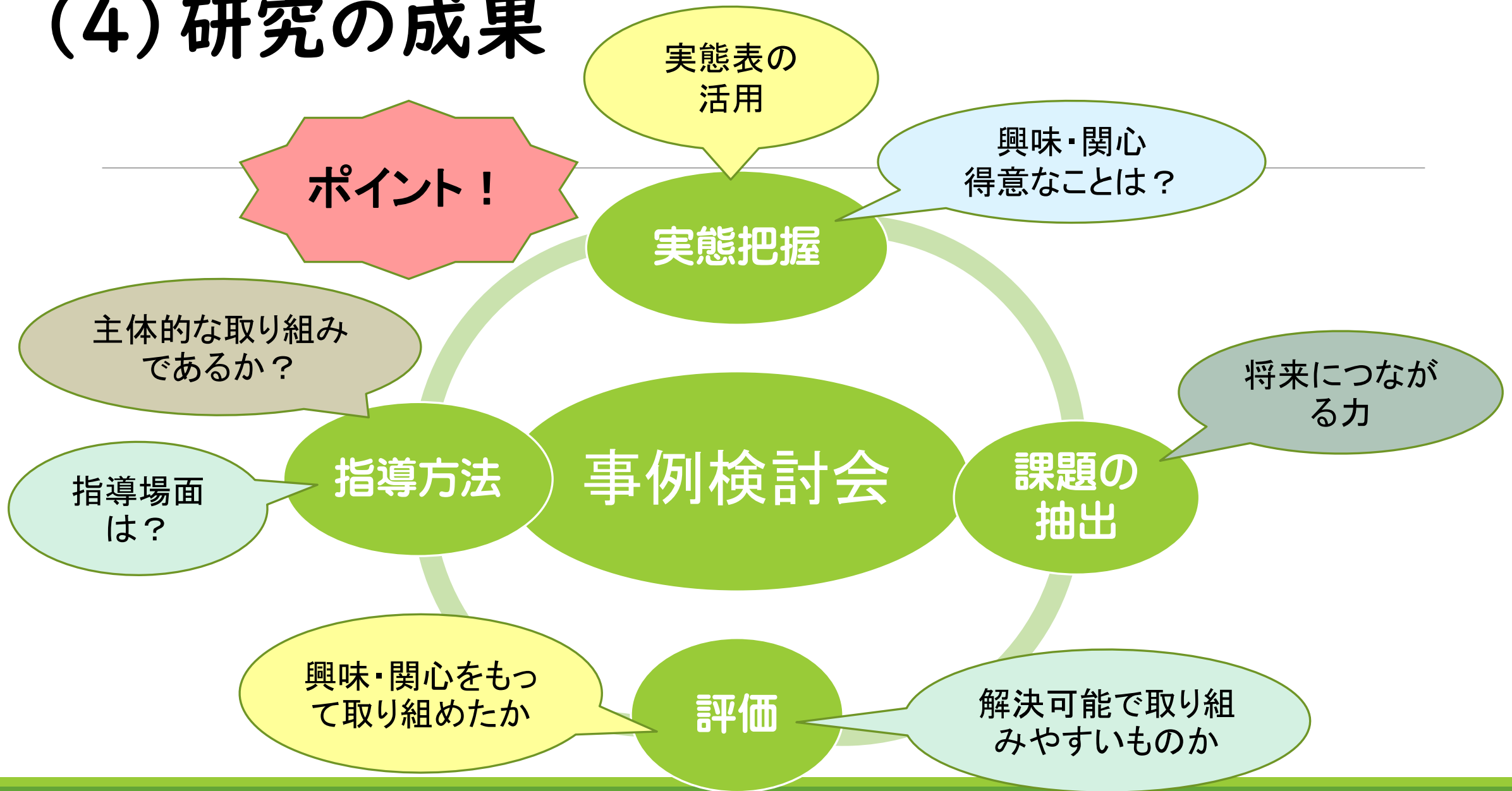
②S生徒の視界に入るところに下校確認表を置いておくと、自から必要なときに下校確認表を取りに行くようになった。下校確認表を安心グッズとして持ち歩き、下校確認のやり取りをする機会を設けることで、現場実習や集会、授業など、新しい所や苦手なことでも、好きなことを通して穏やかにその場で過ごすことができることが増えてきた。



S生徒の自立活動「心理的な安定」の取り組みで大切だったこと

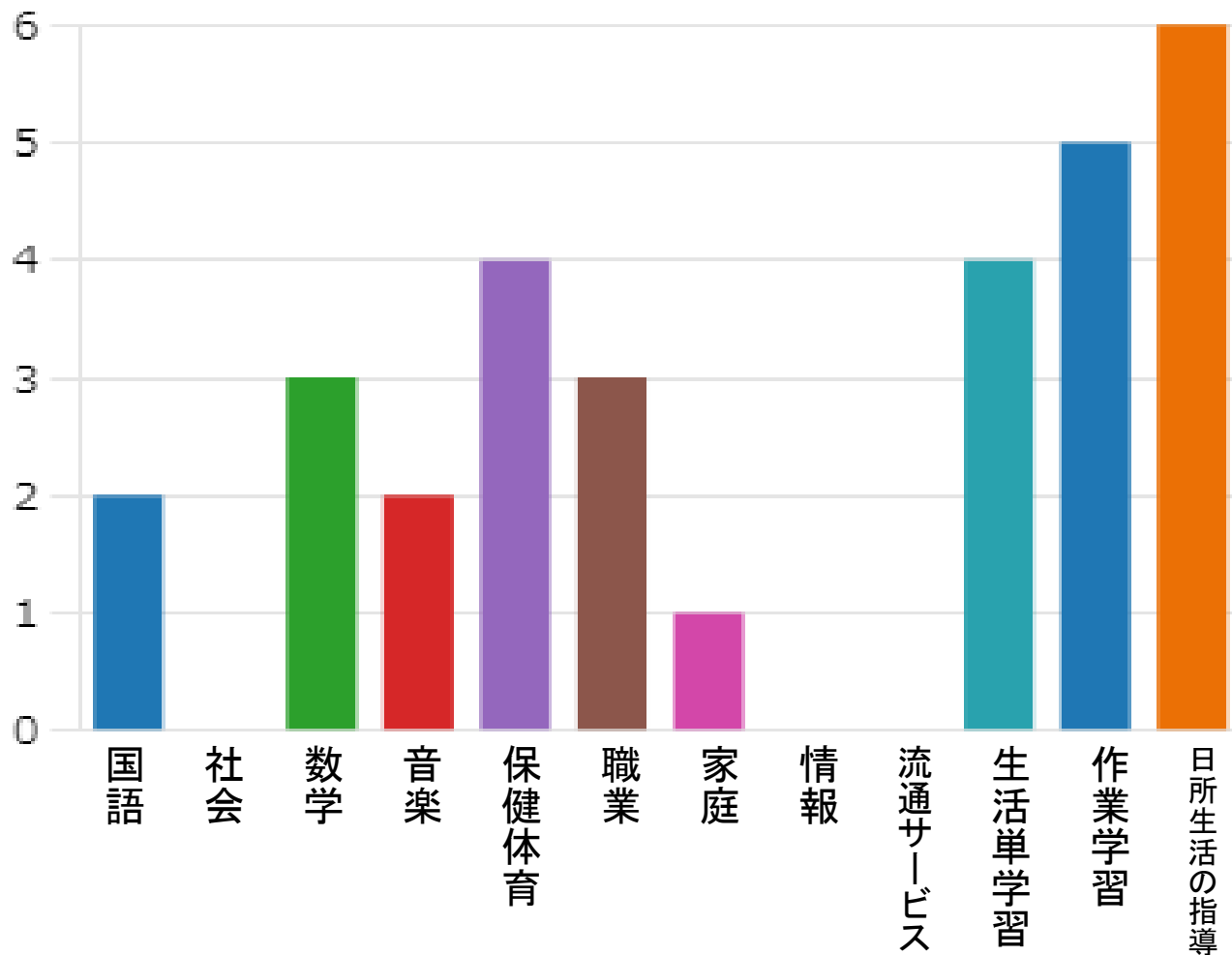


(4) 研究の成果

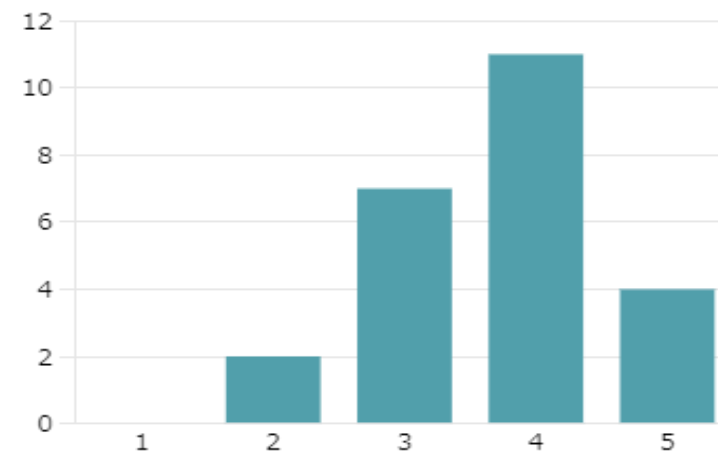


<アンケート結果より>

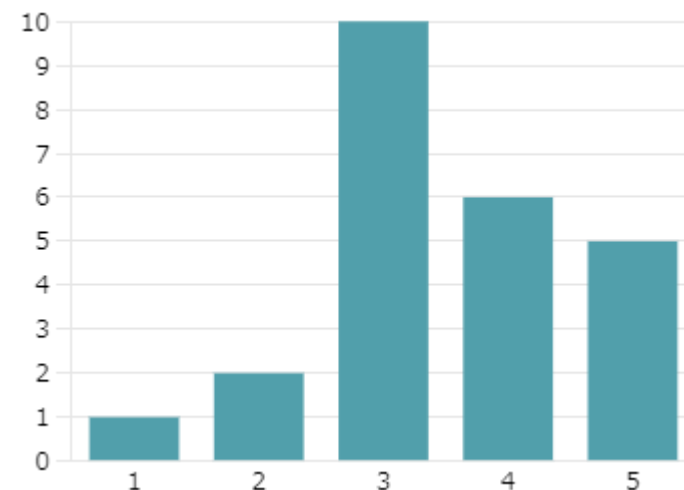
①「具体的な授業場面」



②「興味・関心等に注目」



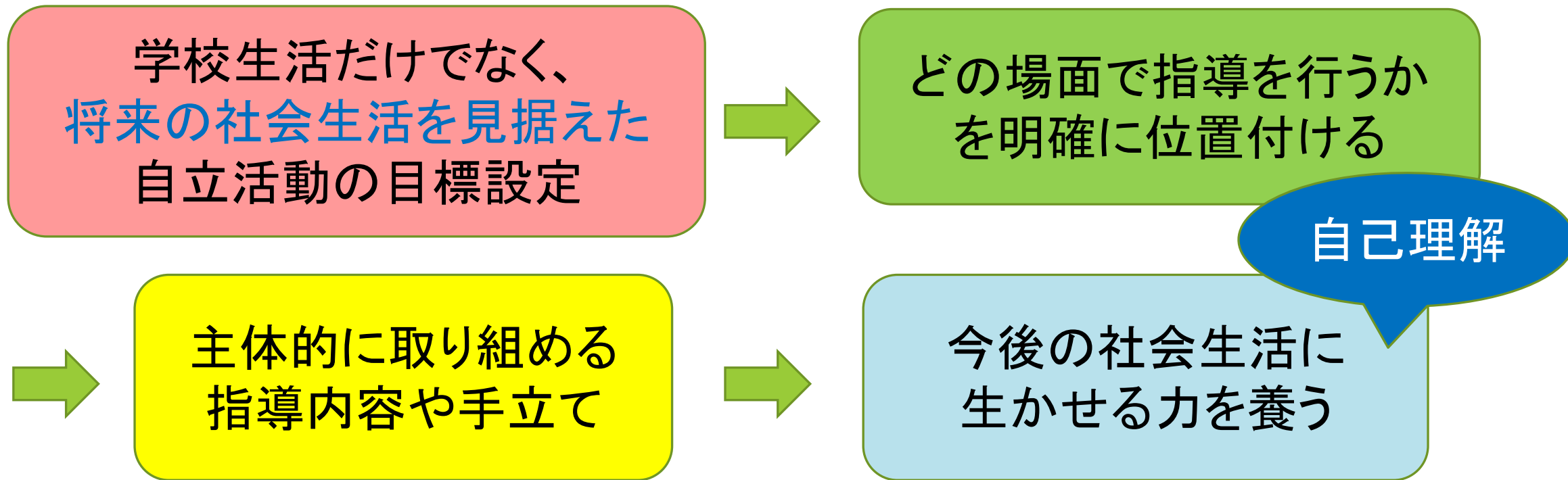
③「主体的に楽しめる活動」



(5) 今後の課題

☆高等部の自立活動において大切にしたいこと

自立活動の授業を特設していない学部なので・・・





【研究主題 B】 小学部

学校課題

「各教科において身に付いた資質・
能力の定着を目指した生活単元学習
の効果的な指導と評価の在り方」

(1) 研究の主な内容

- ①生活単元学習の各単元における系統性の検討
- ②生活単元学習の各単元における各教科等との
関連の明確化と単元配列の工夫
- ③各学年共通単元「買い物学習」での授業実践
(指導内容・評価の在り方の検討)



(2) 昨年度の取り組み

各学年共通単元（季節・行事・買い物等）
におけるねらいの系統性の検討



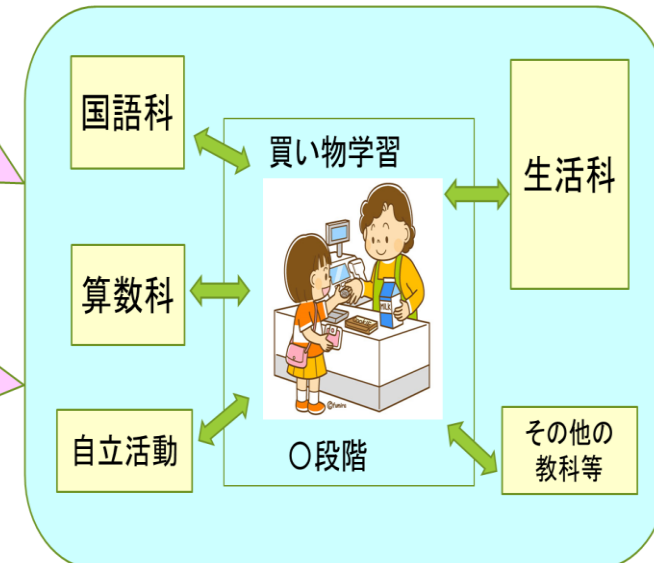
1段階⇒2段階⇒3段階

* 新学習指導要領に記された各段階の目標・内容をもとに検討

各教科等との関連の明確化

学習内容は各教科
等の何の項目を含
んでいるか？

各教科〇段階での
ねらいは何か？



「買い物学習」での授業実践(事前学習)

各教科等との関連

- ・教科を意識した教材の工夫
- ・各教科の単元配列の工夫

実体験に近づけた
教材教具の工夫

【単元配列の工夫】小学部4年

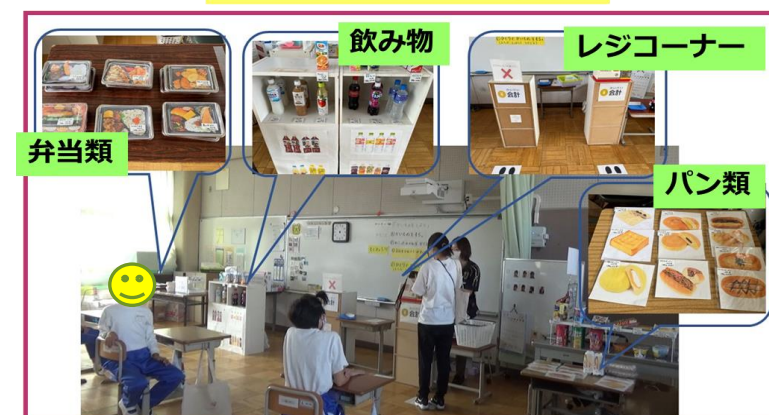
	9月	10月
生単		「買い物をしよう」
国語	「おはなしできるかな☆☆」 (買い物に関する内容を含む)	
算数	「おかねのしゅるい」 *新しい題材を設定	

国語関連 【3段階】買い物手順表

かいものをしよう
なまえ

1	かごとく しょうどく	
2	いふものを かごにいれる	
3	れいにいふ	
4	おかねを しゅるい	
5	しゅるい をさうにふ	
6	いふものを かごにいれる	

小6 コンビニ店舗の再現



(3) 今年度の取り組み

ねらいの系統性の検討と改善

共通単元「買い物をしよう」

	1段階	2段階	3段階
知識 技能	・お店での買い物の仕方に関心をもつことができる。	・お店での買い物の仕方を 知る。	・お店での買い物の手順が 分かる。
思考 判断 表現	・自分の好きな品物を選ぶ ことができる。	・教師の援助を求めながら 品物を購入することができる。	・目的に合わせた品物を自 分で探し、一人で買い物が できる。
学び	・買い物に関心をもち、教師 と一緒に取り組もうとする。	・買い物の仕方を知り、自分 なりに取り組もうとする。	・買い物の手順が分かり、見 通しをもって進んで取り組 もうとする。

「買い物学習」での授業実践(事後学習)

単元で「何を学んだか」がわかる
振り返りを目指そう！

授業改善のポイント

- ・振り返りシートの検討と改善
- ・事後学習の授業展開
- ・児童の実態を踏まえた適切な目標の設定と評価



振り返りシート（児童用）の検討

（例）小5「買い物学習をしよう」

ねらい【3段階】

- ・お店での買い物の手順がわかる。【知・技】
- ・目的に合わせた品物を自分で探し、一人で買い物ができる。【思・判・表】
- ・買い物の手順が分かり、見通しをもって進んで取り組もうとする。【学】

この振り返りシートで、
単元で「何を学んだか」
がわかるかな？



これまでの振り返りシート

－ こうがいぐしゅうの おもいで



5年3組 とみやはなこ

かいものをしました。←

ぎゅうにゅうをかいました。←

たのしかったです。←

事前学習での教科的
な視点は？

問題点



学級で振り返授業を行うため、幅広い実態に応じた振り返りシートになってしまう。

単元の「ねらい」と「まとめの授業」を結び付ける意識が弱い。



実態別のシートを工夫する。さらに事前学習やまとめの授業の学習形態を検討する。
(実態別グループ学習)

「ねらい」を意識して、まとめの授業・振り返りシートを考えてみよう！

ー こうがいぐしゅうの おもいで



5年3組 とみやはなこ

かいものをしました。↵

ぎゅうにゅうをかいました。↵

たのしかったです。↵

各教科等との関連性も忘れずに！！

【実践例】1段階

*2年生
学級で実施



ねらい

- ・お店での買い物の仕方に関心を持つことができる。
【知・技】
- ・自分の好きな品物を選ぶことができる。【思・判・表】
- ・買い物に関心を持ち、教師と一緒に取り組もうとする。【学】

学習内容

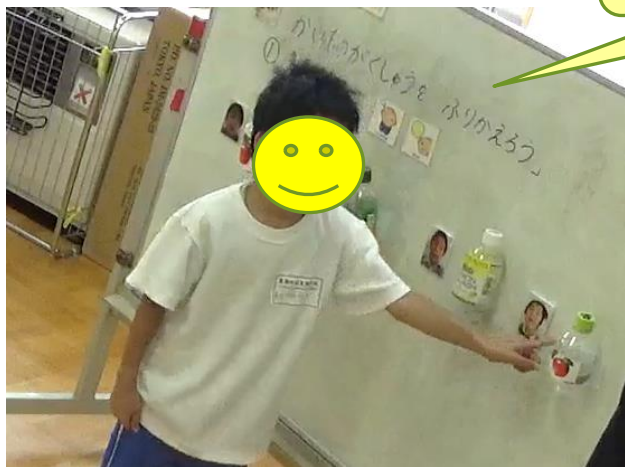
- ・教師と一緒に自動販売機で飲み物を買う経験をする。
- ・自分の好きな飲み物を選ぶ。

事後学習の ポイント

写真と実物の活用
自分で選んだ品物がわかる
「できた！」達成感がもてる振り返り



授業の様子



自分が買ったジュースの
ペットボトルをペタン！

りんごじゅーす
買ったよ！

できた！
ぱちぱち(拍手)



振り返りシート*一部抜粋

買い物の様子



自分が買った
ジュース



どんなきもち？

「できた！」達成感を示
すイラスト



たのしかった

【実践例】3段階

*5年生
グループ別で実施



ねらい

- ・お店での買い物の手順が分かる。【知・技】
- ・目的に合わせた品物を自分で探し、一人で買い物ができる。
【思・判・表】
- ・買い物の手順が分かり、見通しをもって進んで取り組もうとする。【学】

学習内容

- ・家族から依頼された品物を自分で探し、一人で買い物をする。
(ドラッグストアでの買い物)

事後学習の ポイント

買い物の手順(生活)

扱った金銭(算数)

わかったこと・できたことを言葉で表現(国語)

今後の生活へのつながり



授業の様子

買い物をしよう「事後学習 1/2時」

事後学習
1時間⇒2時間に変更

振り返りシート
【児童用】の改善

買った品物

おつりでもらった金額

かいものをしよう (じごがくしゅう)

なまえ

いつ?

1 2

10 月 19 日 (木)

どこ?

SHOP

ソルノドラッグ
うの みずとくじさん



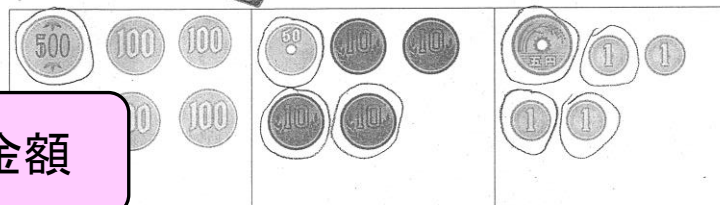
かったもの



しなもの

あわハンドソープ
くてレモン

おつりでもらったおかね

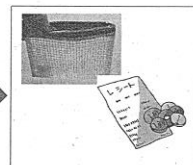


578

えん

かいもののしかた

なまえ



かいもののかんそう

なまえ

ハンドソープのかがたが
わかりました

つぎにかいたいもの

なまえ

スーパーマーケットで
おすしをかう。

買い物の
手順

買い物の感想

次に買いたい
品物は?
(2/2時で記入)



授業の様子

買い物をしよう「事後学習 2/2時」

いろいろなお店の
品物について考えよう



次に行きたいお店は？
買いたい品物は？



グループでの話し合い

スーパーには何が
あるかな？

レストランは？

次はどんなお店で
買い物したいですか？

スーパーでお寿司
を買いたいです

お店ごとの品物分類表



児童の実態を踏まえた適切な目標の設定と評価

振り返りシート【教師用】の活用

個人目標と評価

授業の反省と改善点

授業振り返りシート（研究主題 B：生単） 【教師用】 R5 年度版

単元題材名	買い物をしよう	期日	令和 5 年 9 月 21 日（木）10：25～11：10
本時	買い物をふりかえろう	対象	小学部 2 年 1 組（5 名）
授業者	富屋花子（T1） 宇都宮太郎（T2）	場所	2-1 教室

【児童の個人目標と評価】 ◎：達成した ○：おおむね達成した △：目標の見直しが必要

本時の目標		評価
A	①教師と一緒に、2 枚の写真カードから自分が購入した物を選ぶことができる。	◎
	②教師の言葉掛けを受けて、友達が購入した物に興味をもつ	○
B	①発問を受けて、自分が購入した物を答えることができる	◎
	②自分が選んだ物と同じものを購入した友達がいることに気付く。	◎
C	①複数の写真カードの中から、自分が購入したものを並び名称を言うことができる。	○
	②教師の言葉掛けを受けて友達が購入した物に興味をもったり、違いに気付いたりする。	○
D	①複数の写真カードの中から、自分が購入したものを並び名称を言うことができる。	◎
	②教師と一緒に友達が購入した物を確認し、次に買っていた飲み物について考えようとする。	◎
E	①発問を受けて、自分が購入した物を答えることができる	◎
	②自分が選んだ物と同じものを購入した友達がいることに気付く	○

【授業に関すること】 ◎：達成した ○：おおむね達成した △：検討・改善が必要

1	各教科との関連性を意識した授業づくり（研究主題に関すること）	
	・各教科の見方・考え方を働かせる活動を設定できたか	◎
	・思考・判断・表現でできるような教材・教具（具体物の操作など）や発問を工夫できたか	◎
	・各教科で学んだことを、日常生活でも生かせるような活動を設定できたか	○
	具体的な工夫や手立て・児童の様子など ・ワークシートを改善した指導効果はあったか	
	・教師とのやり取りを通して「何で?」「何を?」と自分の活動を振り返ることができた。言葉や写真カードの選択など様々な方法で表現できるように工夫した。 ・気持ちを表す表情カードは他の授業でも継続して使用する理解が深まるのではないかと感じた。	
2	主体的な学びについて	
	見通しがもてるよう、目標や手順を分かりやすく示していたか	○
	自分と関連付けて学べるよう、興味・関心や生活経験を生かしていたか	◎
	集団での活動でも、一人一人の力が発揮できる役割が設定されていたか	◎
	学んだことを確かめたり、振り返ったりすることができる場面を設定していたか	◎
	具体的な工夫や手立て・児童の様子など ・児童自身が単元で「何を学んだか」を振り返ることができる学習内容であったか	
	・実物（空のペットボトル）を用いたことで、自分の買った飲み物だけでなく、友達の買った飲み物にも興味をもつ児童もいた。 ・ホワイトボードで分かりやすい掲示をしつつ、個の実態に合った発問をし、それぞれが発言できるように工夫した。	
3	授業全体を通して	○良かった点 ●今後に向けた課題 など
	○飲み物を購入する、という身近な題材であることから、全体的に学習への興味関心が高かった。 ○子ども達が買った飲み物の実物や写真カードを見て「おいしかった」「うれしかった」と気持ちを伝えたり、「次は○○が買いたい」と次回への意欲をもてたりする児童もいた。 ○ワークシートを改善したことで、振り返りが分かりやすかった。 ●買い物学習の内容を想起できるような発問、分かりやすい発問を工夫する必要があると感じた。	

(4) 研究の成果

段階に応じた
ねらいの設定



1段階⇒2段階⇒3段階

学習の積み重ね
段階に応じた指導

各教科等との
関連性を踏まえた指導

各教科との授業関連による
相乗効果
「わかる」授業は主体的な学びへ

「何を学んだか」が
わかるまとめと評価

「できた!」成功体験
は自信と意欲へ

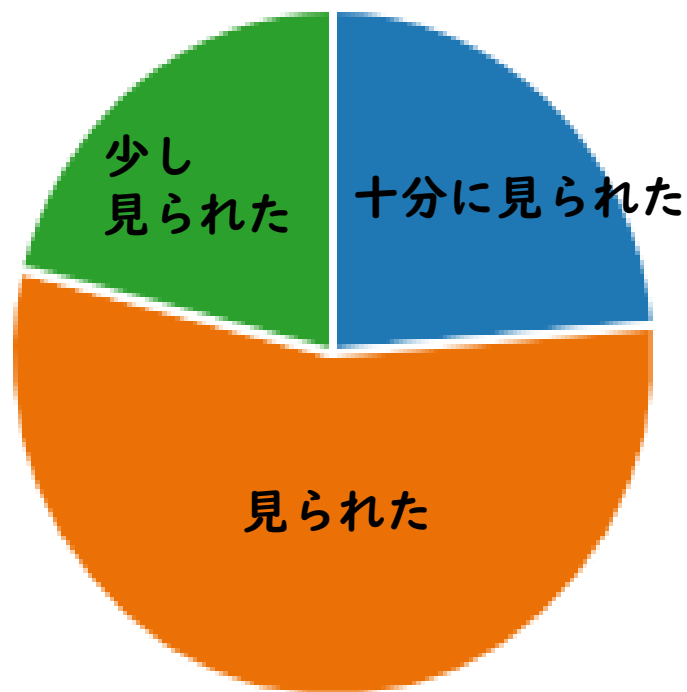


効果的な指導の在り方を検討し、授業改善ができた

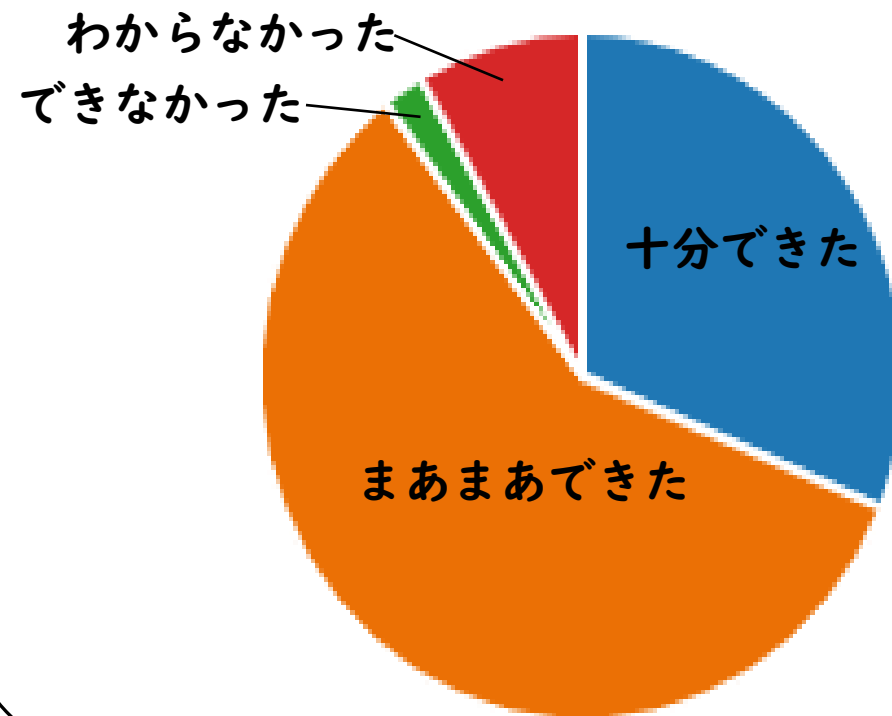
⇒様々な単元や教科授業にも徐々に反映されている

小学部教員アンケート結果

Q. 「買い物学習」の評価に関する振り返りシートや事後学習の授業改善によって、児童が主体的に学ぶ姿が見られたか。



Q. 2年間の研究実践を通して、生活単元学習と各教科等の関連性を意識して指導することができたか。



(5) 今後の課題

各教科を意識した
学習内容と評価



各単元における実践の継続

実態別グループでの指導



実態・目標・評価に関する
教員同士の共通理解

単元指導計画の見直し



各段階を意識した
指導内容や時数等の検討

生単・各教科等で改善を継続していく



【研究主題C】 中学部

学校課題

「社会的・職業的自立に向け、
生きて働く力の育成を目指した
指導内容と評価の工夫」

(Ⅰ) 研究の主な内容

- ① 職員間での共通理解
- ② 作業日誌の導入・改善
- ③ 職業・家庭科の指導内容の見直し
- ④ 模擬即売会の実施

(2) 令和4・5年度の取り組み

①職員間での共通理解

社会的・職業的自立に向けて育成したい力



小学部



中学部



高等部



② 作業日誌

③ 職業・家庭

④ 模擬即売会

⑤ 即売会アンケート

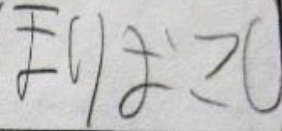
- 自己調整力
- 働くことの意義
- 社会生活に必要なコミュニケーション
(挨拶・返事・報告・相談など)
- 基本的な作業能力

意欲・働くイメージ・夢

②作業日誌の導入

☆どんな作業をしましたか？ ○をつけましょう。				
				
なえうえ	くさむしり	しゅうかく	あきかん	その他
☆取り組みのようすはどうでしたか？				
				
		とてもよい	よい	もうすこし
☆先生から一言（担当： ）				

9月16日（金）

【作業内容】 さきょうないよう	草むしり くさむしり	収穫 しゅうかく	エコバッグ エコバッグ	その他 その他
				
			よくできた 	できた 
				もうすこし 
今日の きょう 目標 もくひょう	あいさつ しせい 姿勢 ことばづか 言葉遣い	へんじ ほうこく 返事 報告	じゅんじゅ かたづ 準備・片付け	あんぜん 安全 安全
きょうがんば 今日頑張ったこと・つぎがんば 次頑張りたいこと				
かっこいいました かっこいいました。				
先生から せんせい				
はなをまいて、へんじをしかん おこなうことが出来ます。				

9月18日 (金)

【作業内容】	草むしり	しゅうかく 収穫	エコバッグ	その他 ほいほい
今日の もくひょう 目標	あいさつ 姿勢	へんじ 返事 言葉遣い	ほうこく 報告 身だしなみ	じゅんぷ 準備・片付け あんぜん 安全
	(	◎	○	△

きょうがんば
【今日頑張ったこと・次頑張りたいこと】

せんせい
【先生から】

はなれをまいて、へんじをしっかんおこなうことができています。



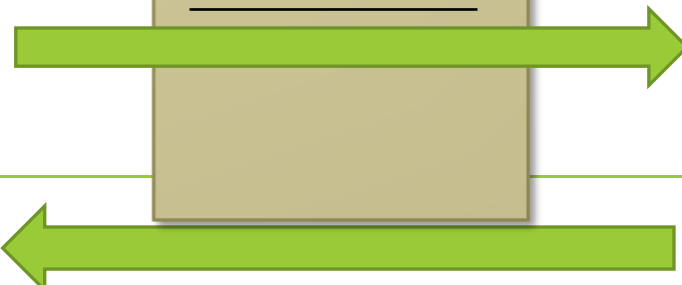
しせい ◎ ×	ほうこく ◎◎せんせい、 お話をしました。 ありがとうございます。	へんじ はい	よくできた できた もうすこし ◎ ○ △	
きょう 今日の もくひょう 目標	へんじ 返事 しせい 姿勢 (	ほうこく 報告 あんぜん 安全	じゅんぷ かたづ 準備・片付け しゅうちゅう 集中 ていねい)	よくできた できた もうすこし ◎ ○ △
きょうがんば つぎがんば 【今日頑張ったこと・次頑張りたいこと】				
せんせい 【先生から】 () ◎ ○ △				

コミュニ
ケーション

教員

実習日誌

生徒



② 作業日誌

③ 職業・家庭

④ 模擬即売会

⑤ 即売会アンケート

- 自己調整力
- 働くことの意義
- 社会生活に必要なコミュニケーション
(挨拶・返事・報告・相談など)
- 基本的な作業能力

意欲・働くイメージ・夢

③ 職業・家庭科の指導内容の見直し

作業学習

違いは？

働くための学習

- ・挨拶・報告・返事 ・時間内がんばる
- ・いろいろな作業に取り組む など

校内実習

「働くこと」は？

毎日 働くための学習

- ・体力、体調管理 ・責任をもって
- ・失敗してもがんばろうの気持ち
- ・自分から進んで ・誰かのために など

目標（もくひょう）をたてましょう。

がんばりたいこと

できるようになりたいこと

ぜんかいの^{じっしゅう}実習をふりかえって



たとえば



- ^{かかん}10日間 やすまずのりきる。
- ^{じかん}時間をまもる。
(はじまりの時間におくれない。)
(時間いっぱいがんばる。)
- すすんで じゅんぴをする。
- すすんで かたづけやそうじをする。
- ^{がっき}1学期たっせいできなかったこと

あいさつ 「ありがとうございます。」 「しつぱいします。」 「しつぱいしました。」	へんじ はい	ほうこく 〇〇せんせい、 おわりました。 かくにんおねがいします。	ことばづかい 〇〇せんせい。 〇〇ください。 〇〇ですか？ 〇〇です。 〇〇ます。
---	------------------	---	---

- おおきなこえで
- きをつけのしせいで
- ただしいことばで
- ていねいなことばで

じゅんぴ・かたづけ 	あんぜん
----------------------	-----------------

- どうぐをただしくつかう
- どうぐをていねいにつかう
- ただしいばしょにもどす
- つくえのうえをきれいにつかう

しせい

- せんせいのほうをむいて
はなしをきく
- つくえにひじをおかない
- せなかをのばす

- まいにちさぎょうする
- さいごまでさぎょうにとりくむ

目標を明確に

事後学習（ワークシート）

<おもて>

・校内実習

1月23日(月)～27日(金)

・実習(じっしゅう)の目標(もくひょう)

・3年生らしく気を引きしめてがんばる

・えいせい・せいけつに気を付けて
さぎょうする。

・実習でがんばったこと、できるようになったこと

「3年生らしく気を引きしめてがんばる」は、「さすが3年生
といわれるくらい、さぎょうが正しいで、せんぶの日◎だった。

「えいせい・せいけつに気を付けてさぎょうする」は、わんどが

これからの作業学習でがんばること(がんばらないように、いしできた。

とくに、「えいせい・せいけつに気を付けて、さぎょうする」は、
しょうらい、わたしがはたらきたいしごとで
すごくじゅうやうなので、そのけいけんをバネに、
がんばると、わたしはみずから、ちがいます。
<うらもあります。>

<うら>

「校内実習」

・毎日働く(はたらく)ための勉強



がんばったこと(がんばっていること)に○をつけましょう。

	○	
体調管理(たいちょうかんり) つづける力・体力(たいりょく)	責任をもって・自分から	だれかのために
↓	↓	↓
・規則正しい生活 (早起き、朝ごはんをたべる、運動、 清潔(手洗い・うがい・マスク)など) ・身だしなみ(衣服の調整) ・朝の健康確認 など	・クラスや委員会の仕事をがんばる ・「OK」が出るまでがんばる ・「何かやること(できること)は ないかな」と思う など	・クラスや委員会の仕事をがんばる ・家でのお手伝いをがんばる ・物を大切に扱う ・「自分のため」でもあると気付く など

「↑これからの 作業学習や 校内実習のときだけでなく、

ふだんの生活でも 毎日がんばれると いいですね。」

② 作業日誌

③ 職業・家庭

④ 模擬即売会

⑤ 即売会アンケート

- 自己調整力
- 働くことの意義
- 社会生活に必要なコミュニケーション
(挨拶・返事・報告・相談など)
- 基本的な作業能力

意欲・働くイメージ・夢

④ 模擬即売会の実施

① ていねいな接客をしよう

② 完売をめざそう

みんなが分かる



③ 他の班のよいところを
みつけよう

目標を意識した取り組み

① ていねいな接客をしよう

あいさつ

挨拶

「いらっしゃいませ」
「ありがとうございました」



しせい

姿勢

つくえに手をつかない



② 完売をめざそう

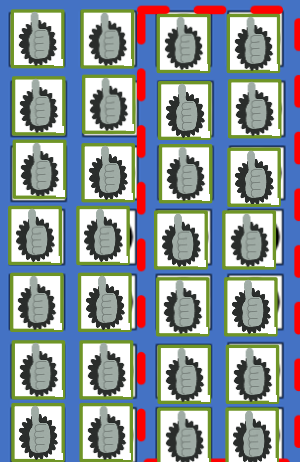
模擬即売会



- 考える
- やる気になる
- 動き出す



ふよう祭即売会



③ 他の班のよいところをめざそう

ようぎよう

班のよいところ

★ あいさつ

こうしきがよくかたまる

開きやすく、
ボリュームが大きい

★ しせい

よいしせい

★ せいひん

ほしいろをすすめてくれた

せいひんのかたちをきいた



② 作業日誌

③ 職業・家庭

④ 模擬即売会

⑤ 即売会アンケート

- 自己調整力
- 働くことの意義
- 社会生活に必要なコミュニケーション
(挨拶・返事・報告・相談など)
- 基本的な作業能力

意欲・働くイメージ・夢

おきゃくさんのかんそう



しゅげいほうせい班の
さしこのせいひんは
ぬいめが とても **きれいです。**

ビーズコーターも カラフルないろで
きれいですね。

たくさん つかいます！

ほかにも ...

ふくろづめ が きれいでした

かざりつけ が きれいでした

あいさつ が げんきがあって かんどうしました！



リースを
かざりました！

丁寧に取り組もう
良い製品を作ろう



② 作業日誌

③ 職業・家庭

④ 模擬即売会

⑤ 即売会アンケート

- 自己調整力
- 働くことの意義
- 社会生活に必要なコミュニケーション
(挨拶・返事・報告・相談など)
- 基本的な作業能力

意欲・働くイメージ・夢

② 作業日誌

③ 職業・家庭

④ 模擬即売会

⑤ 即売会アンケート

- 自己調整力
- 働くことの意義
- 社会生活に必要なコミュニケーション
(挨拶・返事・報告・相談など)
- 基本的な作業能力

意欲・働くイメージ・夢

(4) 研究の成果

働くことの意義

職・家の見直し

模擬即売会

作業日誌

目標の明確化
挨拶、報告

働くイメージ、意欲



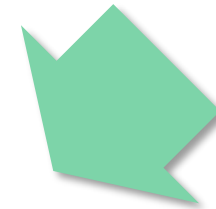
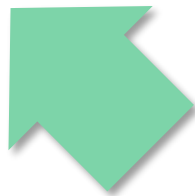
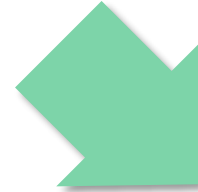
目標

実践

自信と意欲

課題の
明確化

自己評価
他者評価



1. 作業日誌の改善は、生徒への指導に役立てることができたか。

● できた	19
● できなかった	0
● その他	1



5. 校内実習の事前・事後の改善について

● 担当学年での学習内容として適...	20
● 改善の必要がある。	0



3. 模擬即売会の実施について

● 今後も継続した方がよい	20
● 継続の必要はない	0



7. 今回の研究の実践は、生徒の指導や評価に役に立つものでしたか？

● 役に立った。	15
● ある程度役に立った。	5
● そうでもない	0



(5) 今後の課題

実践の場を広げる

どこでも

普段の指導に
取り入れる

長期的に継続する

ずっと

教材、マニュアル等
を引き継ぐ

5 研究のまとめ



～チーム富屋で大切にしたいこと～

すべての指導目標の基本となるのは

的確な実態把握



子ども一人一人の

良いところ

できること

興味・関心

に着目することを大切に!!

チーム富屋で目指す授業づくり



「わかる！」
学習内容・授業展開

【主体的な学び】

「やりたい！」
興味関心に基づく
教材教具

【意欲】



「できた！」
達成感がもてる評価

【自信】



新学習指導要領における

主体的な学び

対話的な学び

深い学び

これらを実現
させるために

小さな改善の積み重ね

教育課程は
適切？

各教科の時数は？

学習形態は？

学習内容は？

新しい単元が
必要？



5 今後の研究について



R4・5

R6・7

【研究主題A】 高等部 → 中学部

【研究主題B】 小学部 → 高等部

【研究主題C】 中学部 → 小学部

＊教育課程研究集会（令和6年8月）

研究主題A（高等部）

研究主題B（学習指導部自立活動係）

発表予定



おわりに

チーム富屋で 子どもたちに笑顔を

